

CIGS 宮家邦彦講演会

「東アジア安全保障環境の地殻変動」

2018年6月12日の米朝首脳会談は、朝鮮戦争以来曲りなりにも安定していた東アジアの安全保障環境を激変させる可能性を秘めている。このままでは北朝鮮の「非核化」の有無にかかわらず、また関係諸国の思惑とも無関係に、東アジア、特に、朝鮮半島を中心とする北東アジア情勢が大きく動き始めるだろう。仮にそうした事態が現実となる場合、日本を取り巻く国際政治環境はどう変わるのか。その際に、日本は如何にして自国の独立と安全を確保すべきなのか。以上の視点から、本講演では東アジアの今後の国際情勢を大胆に展望する。

<開催概要>

日 時：2018年9月25日（火） 14:00～16:00（13:30 受付開始）
場 所：一橋大学学術総合センター2階 一橋講堂
定 員：400名
講 師：宮家邦彦 キャノングローバル戦略研究所（CIGS） 研究主幹

<講演者プロフィール>

宮家邦彦

キャノングローバル戦略研究所 研究主幹 / 立命館大学客員教授

1978年東京大学法学部卒業後、外務省入省。カイロ、バグダッド、ワシントン、北京にて大使館勤務。本省では、外務大臣秘書官、中東第二課長、中東第一課長、日米安保条約課長、中東局参事官などを歴任。2005年、外務省退職後、株式会社外交政策研究所を設立。2006年立命館大学客員教授。2006-07年安倍内閣「公邸連絡調整官」として首相夫人を補佐。2009年4月よりCIGS研究主幹（外交安保）。

<プログラム>

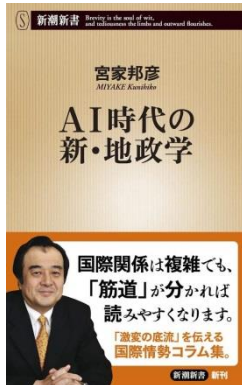
14:00-14:10 開会挨拶
福井 俊彦（キャノングローバル戦略研究所 理事長）

14:10-15:30 講演 「東アジア安全保障環境の地殻変動」
宮家 邦彦（キャノングローバル戦略研究所 研究主幹）

15:30-16:00 質疑応答

書籍のご案内

『AI時代の新・地政学』



AI時代を迎え、従来の地政学の常識は大きく書き換えられていく。戦略兵器となった「AI兵器」が核にとって代わり、熱い戦争ではなく「水面下の刺し合い」が主戦場となる可能性すらある。大事なものは、技術の革新を認識しつつ、変わらぬ人間の本质と冷徹な現実を見据え、世界の行く末をクールに考え抜く姿勢だ。戦略的思考に定評のある元外交官が、縦横無尽・自由自在・ユーモアたっぷりに未来を読み解く。

著 者: 宮家 邦彦
出 版 社: 新潮社
I S B N : 9784106107818
価 格 : 本体 780 円+税
発 行 : 2018 年 9 月初版

CIGS ニュースレターのご案内

当研究所では、研究員の提言やメディア掲載記事などをホームページに掲載しています。また、ホームページに掲載の情報をいち早くお届けするニュースレターの配信も行っています。下記 QR コード、もしくは URL よりアクセスをお願いいたします。

◆CIGS ホームページ◆



<http://www.canon-igs.org>

◆CIGS ニュースレター◆



<http://www.canon-igs.org/newsletters.html>